

第88回 理事会（平成16年度第8回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成17年3月7日（月）19:00～20:50
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 2階第3会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）上田 英之、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
（理事）本田 衛義、徳本 進、長久保 巖、佐々木生道、岡本 洋一、
川田 光代、木村 徳善、菊地 勇二、百海 廷、平沢 幸一、
吉岡 去私
欠席理事：（会長）河野 洋平、
（常務理事）三塚 康雄、渡辺 三郎
（理事）柴田 秀一、清水 忠、栗田 謙悟、斎藤 幸雄
4. 出席監事： 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出：徳本 進理事、平沢 幸一理事を選出
7. 書記： 江口 潤 広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、別紙のとおり下記の行事についての報告がなされ、了承された。

イ) アルペン 第63回国民体育大会スキー競技会について

会期：2/19～25、会場：岩手県安代町、役員選手計44名、成績は別紙。

ロ) アルペン 第56回神奈川県総合体育大会スキー競技会について

会期：2/25～27、会場：長野県白馬五竜：参加：延べ400名、成績は別紙。

・県総体の在り方、運営費負担などの改革を県と調整していくとの報告がされた。

ハ) アルペン 第63回神奈川県スキー選手権・ジュニアスキー大会について

会期：3/4～6、会場：新潟県上越国際、参加：延べ600名、

・ジュニアの参加が増えている。

(2) 審議事項

第63回国民体育大会スキー競技会役員変更について

菊地本部長より、国体役員副団長の古郡副会長が体調不良のため、野地副会長に変更になり、また、国体代表選手で男子A組足立康仁選手が左足靭帯負傷のため、小山貴史選手（学連・亜細亜大学）に変更し派遣しましたことを事後報告しますとの提案がなされ、承認された。

さらに菊地本部長より総評として、今大会では下村選手の8位入賞1名だけであったが、全体的には少年男女を除き、第一・第二シードを確保でき、次年度の群馬大会においては今年以上の準備をして好成績を狙う旨の所信表明があり、また少年男女についてはジュニアの長期育成により20位以内を目指していくことの報告があった。

野地副会長から、競技本部理事を後継者育成を兼ね一人役員として派遣できないかとの提案があったが、予算面での調整が必要であり今後検討することを確認した。競技本部として、県体協の予算に制限があり、県連でコーチとして参加の可能性を検討して頂きたい旨の意見が出された。

キャタピラー三菱カップへの変更について

菊地本部長より、チャレンジカップ第3戦野辺山大会（4月2日開催）を今回に限り、キャタピラー三菱大会に変更して実施する旨の提案がなされ、片専務理事より今回だけのことで、冠は、4 / 2（土）がキャタピラー三菱、4 / 3（日）がトーエルカップとなることで承認された。

大塚製薬の大会協賛について

菊地本部長より、チャレンジカップ第3戦及びトーエルカップに対し、新規に大塚製薬による物品協賛が決まり、ドリンクを600本協賛される旨の提案がなされ、承認された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

百海理事・菊地理事より、別紙のとおり下記行事についての報告がなされ、了承された。

イ) 車山行事（2 / 18 ~ 2 / 20） スキー準指養成参加132名、

レベルアップ講習会3名、級別テスト受験1名合格者なし、

S B養成11名、S B研修会32名、S Bレベルアップ講習会14名、

S B級別テスト受験16名合格15名

- ・片専務理事より、レベルアップ講習会の参加3名は少なく、次年度は行事開催も含めて検討事項とすることの指示があった。

ロ) 教程書籍販売清算結果について

販売合計額（昨年比で約10万円下回る）請求額が示され、売上が489,600円となることの報告があった。専門委員30名分の無償提供があったことが報告された。片専務より、会計処理を適正に処理するよう指示があった。

ハ) 来期の指導員養成講習会理論会場について

会期：10 / 23、11 / 6 場所：神奈川県労働プラザ

- ・労働プラザを仮押え、4 / 1以降に正式手続きする予定であることが報告された。

ニ) 第5回神奈川県スノーボード技術選手権開催について

会期：2 / 13 会場：長野県菅平 参加者32名 会期を1日短縮して実施。参加者が少ないのは別団体が行事を重複させるためとの説明があった。

ホ) スキー技術強化合宿（C）実施について

会期：2 / 12 ~ 14 会場：長野県八方尾根 参加者：コーチ6名、選手13名 選手数に対し、コーチ数が多いのではないかと指摘があり、詳細を明確にすることが確認された。

ヘ) 五竜行事 の開催について

会期：2 / 25 ~ 27 会場：長野県白馬五竜 参加者：準指養成30名、プライズ12名、パトロール3名、専門委員強化5名、

- ・山田副会長より、養成参加者が少ないのは約100名が車山で練習しており、本来なら車山で開催すべきではないかと指摘があり、今後日程面での検討が必要であることが確認された。

ト) 車山行事 開催について

会期：3 / 4 ~ 6 会場：長野県車山 参加者：準指受験156名（70名合格 44.9%）

C 級検定員16名（合格7名 43.7%） B 級検定員15名（合格者15名 100%）

S B 14名（9名合格 64.3%）

- ・山田副会長より、合格率の公表に際し、申込み数比と別に実質参加者数比も公表する必要が指摘され、双方を公表することが確認された。C 級検定員の合格率が低い事について、学科及び適中率が悪かったことが報告されたが、準指検定会をC 級検定員検定会で使用してよいのかとの指摘があり、今後の課題となった。

教育本部行事について

片専務理事より、行事全般の日程等各委員会が新年度に向け再検討する必要があるとの要望が

なされ、各委員会で持ち帰り検討することで了承された。さらに山田副会長より、全般的に行事運営にあたり、若手専門委員の意見をもっと反映させることが必要ではないかとの要望があり、各委員会で持ち帰り検討することで了承された。

(2) 審議事項

第2回全日本スノーボード技術選手権神奈川県選手団派遣選手及び、神奈川県選手団の打ち切り補助の承認について

百海理事より、下記の日程で行われるので、今回参加の監督1名選手5名について、打ち切り補助の形で、神奈川県選手団派遣をサポートすることの提案がなされ、片専務理事から、予算枠として教育本部全日本スキー技術選手権予算に寄せ処理することで承認された。

大会名：第2回全日本スノーボード技術選手権大会

会期：3月19日(土)～21日(月)

会場：北海道ルスツリゾートスキー場

全日本スキー技術選手権の派遣選手交代について

百海理事より、技術選代表の中村選手が練習中の負傷(手首骨折)のため、石浜選手に交代派遣することの提案がなされ、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

特になし。

資金運用状況について

岡本理事より、財務状況として月次推移表が提示され、2月末現在、前年比約200万円減との報告がされた。この理由は主に、会員数減であると報告された。会計担当から各事業の決算を随時報告頂きたいとの要望が出された。尚、県連事務所に領収書等の回収の為のクリアファイルとダンボールを設置したので提出をお願いする。片専務理事より、5月末の評議員会用の予算・作成に向け、各委員会において各担当事業の決算及び予算作成を十分吟味願いたいとの要望が出された。評議会資料発送のスケジュールから逆算して、4月末が期限になると確認された。

登録状況について

長久保理事より2月末日現在での登録状況は、5834人(前年6026人)であり、前年に比べ192人減と報告があった。予算案では、5800名で予算組されている。今回は、SBの指導員登録により助けられているのが現状であるとの報告があり、了承された。

一般登録；5,834名、

スキー指導員関係；2,361名、検定員；1,772名、

スノーボード指導員(単独)；53名、競技関係有資格者；41名、

スノーボード指導員(兼務)；13名、パトロール；90名

クロカン指導員；5名

ハンディキャップ委員会

越前谷事務局長より、賛助金集計額が342000円(2月末現在)であることが報告された。

E決済委員会

徳本理事より、E決済による申込みが2月末現在、6件あったことが報告された。上田本部長からは、今後各種大会エントリーや登録などにも拡大していけば、予算書の整理にも有益であることの説明があった。

ウエアー委員会

長久保理事より、SAKグッズのなかで、帽子に余剰があることが報告された。教育本部行事、競技本部行事の会場で物品販売ブースを設置して販売することが了承された。

評議員会資料作成について

上田本部長より5月28日(土)の評議員会に向け、各本部での反省と方針及び予算案(備品投資案含む)の検討準備をするよう要望がなされた。次回理事会(4月4日)までに、各本部へ日程表の叩き台を配布する予定であるとの報告があった。

(2) 審議事項

全日本スキー連盟 創立80周年に伴う功労者の推薦(提出期限; 3/15)について

越前谷事務局長より、過去20年に渡りSAJ役員及び県連役員で顕著な貢献をされた方として、河野会長、片岡顧問、鈴木顧問、山田副会長、柴田参与などリストアップされたが、最終決定はなし。総務本部で再検討と原案の作成、提出書類の作成を進めることが承認された。

評議員の交代について

越前谷事務局長より、下記の変更届けがあり、承認された。

・現: 相原 幸夫(平塚) 届出: 齋藤 正三(平塚)

賛助会費の使用について

越前谷事務局長より、H/C賛助会費が342000円集まり、第1回スキー教室で使用後の残金の使途について提案がなされ、手話通訳雇用の為に使用することが承認された。

4) その他

県スキー選手権出場者の練習中の怪我について

山田副会長より、3月4日に苗場スキー場で練習中に倒れ、脳死状態である。現場(スキー場)で怪我したので、慶弔規程により救済できないか検討してくださいとの要望があった。

評議員会資料の作成準備について

片専務理事より、5月の評議員会資料の作成準備に向け、4月からは拡大本部会、各委員会で今年の決算により議論して次年度の予算案を立案してください。5月連休明けには完成させることの要望があった。

木村監事よりコメント

スキーシーズンも終わりに近づきましたが、早めに報告書を提出するようにしてください。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成17年 3月 15日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印